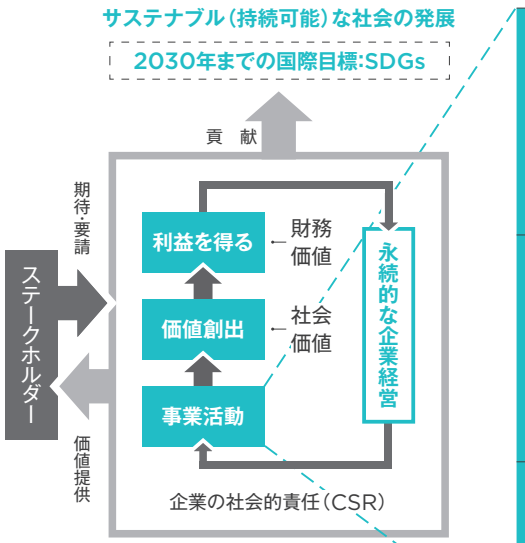
持続可能な社会の発展・SDGs達成への貢献

東京ガスグループのサステナビリティ推進の考え方



マテリアリティ（サステナビリティ上の重要課題）とSDGsとの関係

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
天然ガスを扱うリーディングカンパニーとしてCO₂ネット・ゼロをリード	気候変動							●		●		●		●				●
	エネルギーへのアクセス							●		●		●						●
	安全と防災							●		●		●		●				●
	顧客価値創造			●	●		●	●		●		●	●	●				●
社会との良好な関係	資源効率・循環型社会						●						●		●			●
	地域社会との関係構築	●	●	●	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
	ダイバーシティ				●	●			●		●							●
	働きがい・労働生産性				●				●									●
責任ある企業としての行動	サプライチェーンマネジメント					●			●		●		●	●	●	●	●	●
	情報セキュリティ																	●
	ガバナンス・コンプライアンス					●					●						●	●

※上記関係は東京ガスグループの取り組みの変更に併せて適宜見直しを行っていくものです。

東京ガスグループは、事業活動を通じた社会課題の解決により、東京ガスグループの社会価値および財務価値を向上させ、永続的な企業経営を実現することで、今後も、社会の持続的発展に貢献していきます。

サステナビリティの推進にあたっては、経営ビジョン「Compass2030」を踏まえ、「CO₂ネット・ゼロをリードし、顧客価値を創造し続ける」ことを柱としてマテリアリティ（サステナビリティ上の重要課題）を定め、それらについてPDCAサイクルを推進していくことで、気候変動をはじめとした社会課題の解決に貢献するとともに、SDGs達成にも貢献していきます。

サステナビリティの推進体制

東京ガスグループでは、重要な経営課題について調査・検討または調整・推進するための会議体を適宜設置しています。気候変動問題を含むサステナビリティ推進に関する会議体として、社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を、その下部組織として担当役員を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」をそれぞれ設置し、重要事項は取締役会に報告しています。

（参照:P43コーポレート・ガバナンス体制）